

# 第1回 三陸沿岸道路利活用戦略会議(宮城県) 議事録

日時: 令和3年6月16日(水) 13:00~14:40

場所: 仙台河川国道事務所 2階大会議室(WEB併用)

## 1. 出席者

|        | 機 関 名            | 役 職               | 氏 名           | 備 考         |
|--------|------------------|-------------------|---------------|-------------|
| 会長     | 国土交通省 仙台河川国道事務所  | 事務所長              | 中尾 吉宏         | 出           |
| 副会長    | 宮城県 経済商工観光部      | 副部長               | 武内 浩行         | 代理          |
| 副会長    | 宮城県 土木部          | 副部長(技術担当)         | 千葉 衛          | 代理          |
|        | 仙台市              | 建設局道路部長           | 大友 幸則         | 代理<br>(WEB) |
|        | 石巻市              | 副市長               | 菅原 秀幸         | 欠           |
|        | 塩竈市              | 副市長               | 佐藤 洋生         | 欠           |
|        | 気仙沼市             | 副市長               | 留守 洋平         | 出<br>(WEB)  |
|        | 多賀城市             | 建設部 次長<br>市民経済部次長 | 伊藤 豊<br>佐藤 勝美 | 代理<br>(WEB) |
|        | 登米市              | 副市長               | 渡邊 誠          | 出           |
|        | 栗原市              | 副市長               | 佐藤 克彦         | 欠           |
|        | 東松島市             | 副市長               | 加藤 慶太         | 出<br>(WEB)  |
|        | 松島町              | 副町長               | 熊谷 清一         | 出<br>(WEB)  |
|        | 利府町              | 副町長               | 櫻井 やえ子        | 出<br>(WEB)  |
|        | 女川町              | 副町長               | 伊丹 相治         | 欠           |
|        | 南三陸町             | 副町長               | 最知 明広         | 出<br>(WEB)  |
| オブザーバー | 国土交通省 東北地方整備局    | 道路調査官             | 高松 昭浩         | 出           |
| オブザーバー | 東日本高速道路(株)東北支社   | 総合企画部長            | 中村 大祐         | 出           |
| オブザーバー | 復興庁 宮城復興局        | 次長                | 山田 和広         | 出<br>(WEB)  |
| オブザーバー | 国土交通省 南三陸沿岸国道事務所 | 事務所長              | 五十嵐 俊一        | 出<br>(WEB)  |

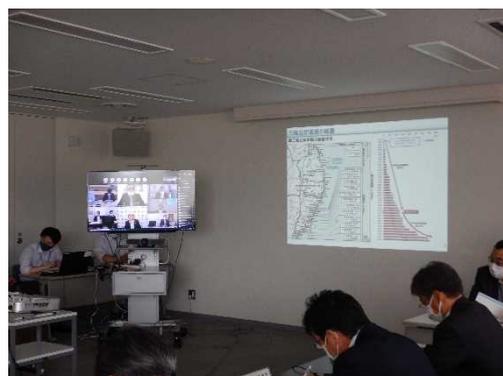
## 2. 会議次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 出席者紹介
4. 議題
  - ・三陸沿岸道路利活用戦略会議（宮城県）の立ち上げについて
  - ・三陸沿岸道路の整備効果について
  - ・地域活性化に関する施策メニュー例
  - ・意見交換
5. その他
6. 閉会

## 3. 配布資料

- ・第1回 三陸沿岸道路利活用戦略会議（宮城県） 次第
- ・第1回 三陸沿岸道路利活用戦略会議（宮城県） 出席名簿
- ・第1回 三陸沿岸道路利活用戦略会議（宮城県） 配席図
- ・三陸沿岸道路利活用戦略会議（宮城県）設立趣意書
- ・三陸沿岸道路利活用戦略会議（宮城県）規約（案）
- ・資料1 三陸沿岸道路利活用戦略会議（宮城県）の立ち上げについて
- ・資料2 三陸沿岸道路の整備効果について
- ・資料3 地域活性化に関する施策メニュー例
- ・資料4 本日、ご意見を頂きたい内容
- ・資料5 【審議】事後評価 一般国道45号 仙塩道路（仙台港北IC～利府中IC）

## 4. 会議写真



## 5. 議事

| 進行等      | 発言者                       | 発言内容  |
|----------|---------------------------|---|
| 1. 開会    | 事務局<br>仙台河川国道事務所<br>松原副所長 | <p>それでは、定刻になりましたのでこれから『第1回 三陸沿岸道路活用戦略会議』を開会します。</p> <p>本日の司会進行を務めさせていただきます仙台河川国道事務所の松原と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>始めにお手元の資料の確認をお願いします。次第、出席名簿、配席図、設立趣意書、規約（案）、資料1から4、NEXCO 東日本からの情報提供資料、後は復興道路10年パンフレットとなっております。配布漏れがあればお知らせ願います。よろしいでしょうか。</p> <p>また報道関係者の皆様をお願いします。写真、テレビの撮影は冒頭の会長挨拶までと致します。なお会議終了までは会場内にて傍聴頂けます。</p> <p>それでは開催に際しまして、仙台河川国道事務所事務所長の中尾からご挨拶申し上げます。</p>  |
| 2. 挨拶    | 会長<br>仙台河川国道事務所<br>中尾事務所長 | <p>皆さんこんにちは。仙台河川国道事務所事務所長の中尾でございます。</p> <p>まず今日は三陸沿岸道路活用戦略会議にお集まり頂きまして誠にありがとうございます。皆様方におかれましては日頃から国土交通行政にご理解ご協力を頂いております。まず御礼を申し上げます。</p> <p>三陸沿岸道路の整備は東日本大震災の復興リーディングプロジェクトとして立ち上げられたものです。震災から10年の間に仙台から八戸まで359kmの全線を開通させることを目標に進めてきました。今年の3月には宮城県内全線開通を果たしております。残りの八戸までの区間に関しては年内に開通させる予定です。三陸沿岸道路の整備が我々の最終目標ではありません。真の復興を果たすこと、そして地方創生を果たすことが最終目標になります。そのために必要な戦略を練る会議ということでこの会議を立ち上げさせて頂き、沿線自治体の皆様にご参加頂いております。単独では出来ないことを地域間で連携して大きな取り組みとすることで、地域活性化を一層進められる可能性を秘めた戦略会議だと思っています。是非、積極的に意見交換、情報交換をしてお互いに刺激を与えながら良い戦略が練られればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> |
| 3. 出席者紹介 | 事務局<br>仙台河川国道事務所<br>松原副所長 | <p>続きまして出席者の紹介です。</p> <p>本日ご出席の方々の紹介につきましては配布しております出席名簿にてかえさせていただきます。</p> <p>また今回の会議はWEB会議を併用して開催しております。WEB会議に参加されている方をお願いします。会議中はハウリング防止のためマイクはオフにして下さい。発言される場合は挙手機能にて挙手をお願いします。</p>   |
| 4. 議題    | 事務局<br>仙台河川国道事務所<br>松原副所長 | <p>それでは議題に移ります。</p> <p>資料ごとに事務局から説明を行います。事務局から資料の説明をお願いします。</p>   |

|                                     |   |   |
|-------------------------------------|---|---|
| <p>・三陸沿岸道路利活用戦略会議（宮城県）の立ち上げについて</p> | <p>事務局<br/>仙台河川国道事務所<br/>調査第二課<br/>岩館課長</p> | <p>仙台河川国道事務所調査第二課の岩館と申します。今日はどうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p style="text-align: center;">— 資料1について説明—</p>   |
|                                     | <p>事務局<br/>仙台河川国道事務所<br/>松原副所長</p>          | <p>只今の事務局からの説明に関しまして質問等ある方いらっしゃいますでしょうか。</p>  |
|                                     | <p>会長<br/>仙台河川国道事務所<br/>中尾事務所長</p>          | <p>仙台河川国道事務所の中尾です。事務局内でやり取りしているみたいになりますが、誰か口火を切る人がいた方がいいと思ひましてあえて質問させていただきます。</p> <p>今ご説明頂いた資料1ではワーキングも立ち上げることを考えておられるようですが、これは自治体さんから何かこんなことを考えていて一緒に何か出来ることはないか、話し合いをしたいという持ちかけを受けて立ち上げる感じですか。</p> <p>例えばその自治体さんとうちの国土交通省だけで始めるかもしれないけれど、隣接する自治体さんも希望があればオブザーバーで入って大きく膨らめる余地があるとか、ワーキングのイメージはどういうものでしょうか。</p> |
|                                     | <p>事務局<br/>仙台河川国道事務所<br/>調査第二課<br/>岩館課長</p> | <p>ありがとうございます。</p> <p>今ご質問がありましたとおり自治体さんからのご提案を受けてメンバーを募るパターンもありますし、あるいはこちらから本日も紹介する施策のメニュー例もありますので、そこでご希望の自治体さんを募るという形も想定しています。</p> <p>いずれにしてもこの会議を堅苦しくやるつもりはなく、まさにこのメンバーの繋がりというところを大事にしながら一つ一つ進めていきたいと考えています。よろしくお願ひいたします。</p>  |
|                                     | <p>会長<br/>仙台河川国道事務所<br/>中尾事務所長</p>          | <p>ありがとうございます。戦略会議、皆で集まって行くと確かに色々な情報を共有したり、刺激を与えあったりという意味では凄く意義があると思ひますが、やはり個別のものを具体的に進めるという意味ではワーキングを立ち上げて具体的な課題や地域にターゲットを当てて意見交換をした方がいいと思ひますので、是非組立の方を皆さんにもご協力を頂きながらよろしくお願ひいたします。</p>   |
|                                     | <p>事務局<br/>仙台河川国道事務所<br/>松原副所長</p>          | <p>他にご質問等よろしいでしょうか。テレビ会議で参加されている自治体さんの方からの質問等は特にございませんでしょうか。</p> <p>では次に資料2の説明を事務局からお願ひいたします。</p>   |
| <p>・三陸沿岸道路の整備効果について</p>             | <p>事務局<br/>仙台河川国道事務所<br/>調査第二課<br/>岩館課長</p> | <p style="text-align: center;">— 資料2について説明—</p>   |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  | <p>事務局<br/>仙台河川国道事務所<br/>松原副所長</p>           | <p>ありがとうございました。<br/>本日 NEXCO 東日本さんの方からも三陸沿岸道路の整備効果に関する資料提供がありましたので、NEXCO 東日本東北支社の中村部長より資料の説明をお願いいたします。</p>   |
|  | <p>オブザーバー<br/>NEXCO 東日本東北支社<br/>中村総合企画部長</p> | <p>あらためまして NEXCO 東日本東北支社の中村と申します。<br/>今日はオブザーバーということで参加させて頂きました。三陸沿岸道路のなかでも我々が管理しているところは仙塩道路の仙台港北から利府中ということで本当にわずかの部分です。ピンポイントみたいな話になりますが、ご紹介だけさせて頂きます。</p> <p style="text-align: center;">— 資料 5 について説明—</p>  |
|  | <p>事務局<br/>仙台河川国道事務所<br/>松原副所長</p>           | <p>はい。ありがとうございます。<br/>三陸沿岸道路の整備効果ということで資料 5 の説明がありましたが内容についてご質問等あればお願いいたします。</p>   |
|  | <p>オブザーバー<br/>国土交通省東北地方整備局<br/>高松道路調査官</p>   | <p>国土交通省東北地方整備局道路調査官の高松と申します。<br/>質問では無いですが整備効果、身をもって感じています。実は 3 月まで三陸国道事務所の事務所長をしておりました。岩手県宮古市に単身赴任をしていました。3 月末に帰ってくる時に気仙沼横断橋も出来ていて先ほど事務所長から仙台・宮古間が 3 時間半という話がありましたが、恐らく皆さんも 3 時間くらいで走ると思います。<br/>仙台・宮古が 1 日で往復できるようになって 1 日行動圏になりました。身をもって整備効果を実感しています。それに伴って、仙台近辺の方々が県を跨いで宮古の方まで日帰りで行けます。途中南三陸、気仙沼を十分観ながら楽しめるということが出来るようになったと思っています。<br/>また産業面でも事務局の説明にもありましたが、色々な連携がされてきていると思っています。一方で競争もあります。三陸地域ではだいたい海産物が同じような物になります。海鮮丼と言えど何処にでもあります。競争がありますが、それぞれの特色を活かせばもっともっと色々な連携が出来るのかなと思っています。<br/>今回の利活用戦略会議では、そういったところを十分に引き出していただければと思っています。色々なアイデアを出して頂ければと思います。<br/>以上です。</p> |
|  | <p>事務局<br/>仙台河川国道事務所<br/>松原副所長</p>           | <p>はい、ありがとうございます。</p>  |
|  | <p>会長<br/>仙台河川国道事務所<br/>中尾事務所長</p>           | <p>仙台河川国道事務所の事務所長です。<br/>これは質問です。戦略会議の名前が三陸沿岸道路利活用戦略会議となっていますが三陸沿岸道路の利活用じゃないと駄目なのでしょうか。先程資料 2 で説明がありましたが、三陸沿岸道路が出来ることによって交通量がそちらに流れて現道の交通量が減りました。それを機会と捉えて何か取り組むことも含めて戦略会議で利活用検討していくという理解なのか、どちらでしょうか。</p>   |

|                   |                                   |   |
|-------------------|-----------------------------------|---|
|                   | 事務局<br>仙台河川国道事務所<br>調査第二課<br>岩館課長 | この会議の意味あいとしましては三陸沿岸エリアというイメージをしておりますので、高速道路だけではなくて現道の活用も含めてのテーマと考えております。  |
|                   | 事務局<br>仙台河川国道事務所<br>中尾事務所長        | 分かりました。ありがとうございます。そういう意味では何かターゲットというか門戸が広い形になっているのですね。分かりました。ありがとうございます。  |
|                   | 事務局<br>仙台河川国道事務所<br>松原副所長         | 他にご質問等ありませんでしょうか。<br>では続いては資料3の説明を事務局からお願いいたします。  |
| ・地域活性化に関する施策メニュー例 | 事務局<br>仙台河川国道事務所<br>調査第二課<br>岩館課長 | — 資料3について説明—  |
|                   | 事務局<br>仙台河川国道事務所<br>松原副所長         | はい。ありがとうございました。<br>只今事務局より施策メニュー例の紹介がありました。<br>これも踏まえまして次の意見交換に移りたいと思います。   |
| ・意見交換             | 事務局<br>仙台河川国道事務所<br>松原副所長         | 意見交換については資料4にあります通り「道路の開通による変化など感じていること」「三陸沿岸道路を活用した地域活性化策について」この2点について今日の出席者全員にご意見を頂きたいと考えています。<br>こちらの出席者名簿の順に1人3分程度でお話頂ければと思います。<br>最初に会長の中尾所長からよろしくをお願いいたします。   |
|                   | 会長<br>仙台河川国道事務所<br>中尾事務所長         | 是非皆さんから実感として感じておられること、何でも結構です。今日は皮きりの会議なので、これから色々な戦略を考えていくきっかけになるだけで十分意味があると思います。是非率直な意見や情報提供をよろしくをお願いいたします。  |
|                   | 副会長（代理）<br>宮城県経済商工観光部<br>武内副部長    | 皆さんこんにちは。県の経済商工観光部副部長の武内です。<br>本年3月に三陸沿岸道路全線開通ということで、まずは国土交通省さんそして仙台河川国道事務所さんのご尽力に感謝を申し上げます。<br>仙台市と気仙沼中心部まで直結されたことにより所要時間の短縮や輸送効率の向上など、あらゆる産業物流の効率化が期待されることは勿論です。また合わせて企業間の取引の活発化や企業立地、そして観光振興にも大きく寄与するものと考えています。<br>これまで新型コロナウイルス感染症の関係で県内の不要不急の移動自粛などでなかなか観光というものが動きませんでした。感染状況が落ち着いて徐々に県内の観光から、そして隣県という形で動いてくると思います。そうしたなか、三陸沿岸道路の県内全線開通というのは非常に大きな力になるのではないかと考えています。<br>今日、登米市さんもいらっしゃいますし、気仙沼市さんはWEB参加されています。『おかえりモネ』などの関係で気仙沼市さんや登米市さんの方に仙台の方から出かける方が多くなってきているという話も聞いて |

|  |                                     |  |
|--|-------------------------------------|--|
|  |                                     | <p>ています。</p> <p>そして先ほどご紹介事例のなかに教育旅行の話がありました。私共は観光の方を所管していますが、沿岸被災地を繋ぎます語り部や復興商店街そして被災地伝承施設などを繋げた復興ツーリズムに大変力を入れています。復興ツーリズムというのは被災県にしか出来ない取り組みで目玉の1つとして進めています。三陸沿岸道路を使って県内の震災伝承施設をネットワークすること、場合によっては岩手県さんとの広域連携など教育旅行、修学旅行の誘致に非常に力になるものと考えています。そして先ほど施策メニューの紹介がありましたが、そのなかでも案内標識の件やビューポイントパーキングなど、こういったところは観光にとっても大変メリットが大きいと思います。</p> <p>是非この会議を契機として皆様の知恵をお借りしながら何か良い策を考えていければと思っています。よろしく願いいたします。</p>  |
|  | <p>副会長（代理）<br/>宮城県土木部<br/>千葉副部長</p> | <p>宮城県土木部副部長の千葉です。私からまず、昨年度末に三陸沿岸道路を全線開通して頂きまして、誠にありがとうございます。これまでの国の御努力に感謝申し上げます。</p> <p>配布されたパンフレットにも書いてありますが、三陸沿岸道路の開通により、宮城県の沿岸部で新規企業立地件数が97件増加、また沿岸地域の観光客数も震災前の1.2倍になるなど、目に見えて効果が出ています。震災復興とともに、産業・経済の回復にも大きく寄与しているものと我々は思っています。これからの更なる本県の発展に向けて、欠かすことのできない道路であると認識しています。</p> <p>県においては、昨年度末に今後の宮城県の道路整備の基本方針となります『宮城の道づくり基本計画』というものを作成しました。三陸沿岸道路をはじめ震災を機に充実した高速道路網の整備効果を最大限発揮していくこととしております。「富県躍進を支える道づくり」として、IC、工業団地へのアクセス強化等を図りながら、三陸沿岸道路を十分活用していきたいと考えています。</p> <p>また、本日の会議でもご紹介頂きました「宮城サイクルツーリズム」についてですが、昨年度末に宮城県版の自転車活用推進計画を策定しました。今年度については、地域ごとに部会を立ち上げて具体的なルートの設定、整備メニュー、整備方針等を定めながら着実に進めていきたいと考えています。</p> <p>先ほどご説明がありましたが、やはりインフラの整備だけではなく、出来たものをどう活用していくかが最大のテーマだと思っています。そういった意味で、こういう会議を立ち上げて頂いて皆さんと議論していくことが非常に重要ですし、議論しながら形にしていくことが非常に大事だろうと思っています。その中で、やはり沿岸地域のみならず内陸地域との連携も非常に重要になってきますので、先ほど事務局の方から話がありましたが、内陸市町村も含めて取り組む必要があるのではないかと思います。</p> <p>また一方では、宮城県のみならず三陸沿岸道路、特に隣接県である岩手県との関係が非常に強くあります。岩手県でもこういった会議を立ち上げていると思いますが、岩手県沿岸市町村との連携を今後考えていく必要があるだろうと思っています。県としても国・沿岸市町村としっかり連携を図りながら積極的に取り組んでまいりたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。</p> |

|                           |  |
|---------------------------|--|
| <p>仙台市建設局道路部<br/>大友部長</p> | <p>仙台市建設局道路部長をしています大友と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>まずは宮城県内の三陸沿岸道路全線開通に関しましてご尽力いただきまして感謝申し上げます。実感としては気仙沼市、三陸への時間が半分にはなりません短縮が大きな効果を出していると思います。</p> <p>さて仙台市では三陸沿岸道路など広域幹線道路へのアクセス向上などのために都市計画道路等の整備を現在進めているところです。また東日本大震災の復興の先を見据え、仙台・東北の経済発展につなげていくための新たな指針として「仙台市経済成長戦略 2023」を一昨年 3 月に作成しています。そのプロジェクトの 1 つとして東北自治体とのネットワーク強化にも取り組んでいます。さらに観光面では広域連携による観光の推進を目的に宮城県沿岸の市町などの自治体で組織する「伊達な広域観光推進協議会」におきまして多様な観光資源を活かした取り組みを行っています。レンタカープランと観光情報を来訪者に提供することで周遊を促す企画を展開するなど道路ネットワークを活用した取り組みを強化しています。今後三陸道的全線開通を契機として沿線地域の経済活性化は勿論、本市への来訪者等が三陸沿岸道路を利用し回遊することで地域全体の活性化につながることを期待しています。以上です。</p>  |
| <p>気仙沼市<br/>留守副市長</p>     | <p>よろしくお願ひいたします。本日は様々な施策メニューについてご紹介頂きましてありがとうございます。</p> <p>気仙沼市は今年の 3 月 6 日に気仙沼湾横断橋を含む三陸沿岸道路、宮城県内最後の区間が供用し、大変多くの方に利用して頂いています。住民の方々からは日常的に利用して「大変便利になった」という声も多いですし、仙台から出張で来られる方も皆さん口をそろえて「気仙沼がすごく近くなった」とおっしゃって頂いています。また観光客もコロナ禍にあっても大変増えていると感じています。特に気仙沼湾横断橋を目当てに来られる方も多いと思いますし、市としては気仙沼湾横断橋のビュースポットも整備しました。企業立地や産業活動については「三陸沿岸道路が出来ることによって通勤圏が広がって従業員が多く見込めるだろう」というようなことが決定打となって気仙沼に進出した企業の事例もあります。大変ありがたい効果だったと思っています。</p> <p>また先ほど地域商社の話もありました。先週だったと思いますが、同じような話で気仙沼市と釜石市、大船渡市の水産加工業者が組んでサーモン養殖の協議会みたいなものを作ったという取り組みが紹介されていました。理由としてはやはり三陸沿岸道路が出来て各都市間の行き来がすごくしやすくなったとのことです。サーモンを稚魚の段階から育てていくということで、道路の走行環境が良くなったため稚魚を運ぶ際に揺れや振動が無く負担がかからない、そういった面でも効果を発揮していると思っています。</p> <p>これからの地域活性化策として取り組んでいることが既にいくつかあります。</p> <p>1 つは先月になりますが仙台空港を拠点として就航していますアイベックスエアラインズと協定を結びました。今はなかなか外からというのはありませんが、アフターコロナを見据えていずれは観光客を取り込んでいかなければいけません。その時に三陸沿岸道路は仙台空港と直結していますので仙台空港を拠点として、先程レンタカーの話がありましたが、この協定のなかではレンタカーの借上げが特別料金になるなどそう</p> |

|  |                         |   |
|--|-------------------------|---|
|  |                         | <p>いった取組をしようとしています。</p> <p>もう 1 つ事例としては、三陸沿岸道路を活用した高速バスの公共交通軸みたいなのが出来ないかというような検討もしています。三陸沿岸部には、新幹線のような定期・定時運行する公共交通の高速幹線サービスが無いので、三陸沿岸道路を使ってそういったサービスを提供出来ないか 2 年～3 年検討をしています。まだこれからですが、例えば宮古市から仙台市まで三陸沿岸道路を使い、途中気仙沼市で降りるというものを始めてはどうかという話が進んでいます。三陸沿岸道路を頻繁に高速バスが走ることによって観光客などの公共交通を利用する方々の訪問を期待できるのではと思っています。</p> <p>長くなりましたが最後にもう 1 点だけ。三陸沿岸道路自体を利活用するという話です。気仙沼市の個別の話になるかもしれませんが、横断橋を使ったマラソンであるとかサイクリングイベント「ツール・ド・東北 2021」を実施してはどうかという声も上がっています。また、本吉エリアには本吉パーキングと呼ばれている敷地もありますので、その利活用も考えていければなと思います。以上です。</p>  |
|  | <p>多賀城市建设部<br/>伊藤次長</p> | <p>この度は地域活性化を目的として三陸沿岸道路利活用戦略会議を設立して頂きまして誠にありがとうございます。</p> <p>多賀城市からは、ご提案といたしますかお願いがあります。地域活性化の手段として現在『ETC2.0』のシステムを活用した一時退出サービス機能の運用拡大を行っているところです。運用拡大の実現についてお願い申し上げます。現在、国土交通省さんと NEXCO さんにおきまして休憩施設『道の駅』への一時退出を可能とする「賢い料金」の実証実験を行っていますが、IC の近傍に位置する道の駅に限定されたサービスとなっています。これを地域の実情に合わせて道の駅に限定するだけでなく観光施設などを利用する場合におきましても利用が可能となるよう運用の拡充をお願い申し上げます。</p> <p>多賀城市の PR になりますが多賀城は 3 年後の 2024 年に多賀城創建 1300 年を迎えます。先月宮城県、市、河北新報社など 6 団体による多賀城創建 1300 年記念事業の実行委員会を設立させて頂きました。官民連携して多くの方々をお迎えするために準備を進めているところです。多賀城市内には多賀城 IC が設置されており、その近隣には特別史跡の多賀城政庁跡があります。また、現在復元を進めております多賀城外郭南門や東北歴史博物館、歴史文化施設など広域に点在している状況です。高速道路からの一時退出が可能となれば各施設への周遊観光、交流人口の拡大に繋がるものと考えられます。そういう意味で多賀城 IC からの一時退出サービス機能運用拡大の実現についてお願いを申し上げます。以上です。</p> |
|  | <p>登米市<br/>渡邊副市長</p>    | <p>登米市です。冒頭に中尾所長さんの方から真の復興につなげるというお話がありました。命の道-三陸沿岸道路の開通と NHK 朝ドラ『おかえりモネ』の放送が重なったのタイミングでこの戦略会議を立ち上げた仙台河川国道事務所さんのご慧眼に心より敬意を表します。</p> <p>この朝ドラの効果を気仙沼市さんと一生懸命行っているところですが県内にとどまらず南は福島『エール』、北は久慈の『あまちゃん』まで道路が繋がっていますので、アフターコロナを見据え広域で相乗効果を発揮していく必要があると思います。この道路の開通による変化ですが、これはドラマの影響もあると思いますが、既に各種の機関から「三陸道</p>   |

|  |                       |   |
|--|-----------------------|---|
|  |                       | <p>沿岸の小中学校を中心に是非活用させて頂きたい」というご要望の打診を頂いているところです。まだ登米市小中学校の再編が終わっていませんが、これから空いていく校舎が出る見込みです。これは仙台圏との距離が短縮されたということが大きい効果になっているのかなと思います。</p> <p>また地域活性化策について何点か申し上げます。朝ドラのロケ地巡りと合わせた B 級グルメ巡りみたいなものやっつけていけるのではと思っています。先ほど、気仙沼市さんの方からありましたが観光客が既にロケ地に来ています。登米市も例えば森林組合の建物になっているところに週末人が多数訪れて頂いています。あれはボート場のクラブハウスで合宿施設になっています。「カフェはないですか」「診療所はないですか」とご意見頂きますが、あれは元々ボートのクラブハウスです。そういうのはありません。そうしたロケ地巡りとプラスして、例えば石巻市さんの石巻焼きそば、鯨料理、南三陸町さんのキラキラ井などを近隣自治体の B 級グルメロードのような取り組みが面白いのではと思っています。またこのドラマの影響が非常に大きくて首都圏の大手企業さんの方から、ワーケーションのご提案も頂いています。例えば 4 泊 5 日で林業体験や農業体験、ボート体験、石ノ森章太郎ふるさと記念館の訪問を組み合わせたものです。</p> <p>また SDGs に繋がるような森づくりに参画をさせて頂きたいというようにお話も頂いています。やはり仙台圏へのアクセスの向上といった効果を活かしてやはり周辺の自治体でワーケーション、サテライトオフィス、チャレンジショップなどの取り組みを充実させていくことも考えられるのではないかと思います。</p> <p>また現道活用もこの会議の範疇に入るといってお話がありましたが、国道 45 号沿いに『もくもくランド津山』という道の駅があります。既にドラマのなかでヒロインが使用している弁当箱やバインダーが大変な反響を頂いています。放送初日に 100 という発注が来るような状況です。その辺りは非常に嬉しいですが、施設そのものは令和元年東日本台風で大きな被災を受けていまして只今復旧工事中です。非常用発電機の設置については整備局さんに特段のご高配を頂いています。道の駅は市の森づくり林業振興の象徴的な施設であると思っています。三陸道開通の効果を活かして木材に触れる体験が出来るような施設、目的地として人を呼び込める施設として活用していきたいと思っています。</p> <p>また資料 2-P.8 に登米市東和の道の駅三滝堂が記載されています。オープン以来多くの利用者にご利用頂いています。大変ありがたいですが、ここにきて大変混雑していて「密になっているのではないか」というご意見も多数頂いている状況です。市としても売場面積の拡大を検討しなければいけないという状況です。また駐車スペースも不足してしまして交通誘導員をおきながら対応しています。この辺りも整備局さんと連携しながら対応していきたいと考えているところです。以上です。</p> |
|  | <p>東松島市<br/>加藤副市長</p> | <p>東松島市副市長の加藤です。私から 3 点申し上げさせて頂きます。</p> <p>一つ目の『道路の開通による変化』ですが、東松島市の海沿いに大曲という地区があります。かつて 500 世帯ほどが暮らしていましたが、津波に流されて高台に移転をしました。現在、約 40 区画の工業団地を造成して企業様に来て頂いています。現在 30 の企業に創業して頂いていますが、その多くがトラックなどの運送業です。この方々に聞きますと今回</p>   |

|  |                      |  |
|--|----------------------|--|
|  |                      | <p>の三陸沿岸道路の開通によってかなり広いエリアをカバーできるようになったということで、商売上も大変好ましい状況になっています。こういったことがありますので本市としても、これを追い風にして更に企業誘致を進めたいと思います。</p> <p>二つ目の現在取り組んでいる施策についてです。本市は市街地に1番近いところに矢本ICがあります。そしてそのすぐ近くに矢本PAがあります。その隣接地に復興の土取場跡地2.2haがちょうど高速道路と平行して確保されています。ここを活用して本市としては道の駅を今後設置したいと考えています。直売所そして食堂あるいは農水産物の加工施設を設置したいと考えています。今後仙台河川国道事務所さんと協議を進めてなんとか早ければ令和5年の10月、秋頃を目標にオープンさせたいと思っています。今後とも何卒ご協力をお願いします。</p> <p>三つ目はその他で要望です。本市の三陸沿岸道路の鳴瀬奥松島ICのすぐ下を鳴瀬川・吉田川が流れています。ちょうど鳴瀬川と吉田川の合流地点が一昨年のも東日本台風で上流も下流も大変大きな被害を受けました。堤防ギリギリまで水が達しました。堤防の薄い所もあります。なんとか機能強化を河川国道事務所さんによろしくお願いいたします。そこは国道に接していて、国道の交通が途絶えるところの高速道路の交通にも支障が出ると考えられます。その辺も含めて今後とも下流部の堤防機能強化もよろしくお願いいたします。以上です。</p> |
|  | <p>松島町<br/>熊谷副町長</p> | <p>松島町の熊谷と申します。いつも大変お世話になっています。</p> <p>松島は観光地ということで、今の状況を見ると松島観光は約2割ということで、三陸沿岸道路の開通によってあえて変化があった、お客さんが増えたという状況ではありません。この辺はコロナの影響がまだまだあるのかなと思います。ただ町内をみると開通により県外の車が少しずつ増えてきたと実感しています。そういう面で今回の開通を大変嬉しく感じています。コロナが収束していった観光客の増加につながればと思っています。</p> <p>今回、三陸沿岸道路が開通して時間短縮が出来ることで各自治体さんの観光地が短時間で移動出来ることになります。色々な方と連携をしながら観光に取り組めればと思います。</p> <p>この道路が出来たということは流通面でも色々な活用が出来るのではと思います。そちらでも色々な形での考え方があって取り組んでいければと思います。</p>   |
|  | <p>利府町<br/>櫻井副町長</p> | <p>この度の三陸沿岸道路利活用戦略会議設立、大変感謝申し上げます。沿岸自治体の皆様と色々共有でできる機会が出来たことを大変嬉しく思っています。</p> <p>今回2つテーマが出されていますが、1つ目の「道路の開通による町の変化」ということになりますが、利府町は今回の総合計画のアンケート調査によりますと町の8割の皆様から住みやすいという回答を頂いています。その要因は本町の交通アクセスが良いということが1つの要因になっています。今年3月にイオンモール利府新棟南館がオープンしましたが、そのような交通条件のよさが利府町に進出されたのかなと思います。オープン時には八戸、いわき、茨城などのナンバーの方もいらしているということでした。やはり交通網の充実が多くの人々の移動が出来ると改めて思っています。またこのような開通により産業や経済の発展に大</p>   |

|  |                       |  |
|--|-----------------------|--|
|  |                       | <p>きな役割を担って頂けるものと思っています。特に IC ですが、利府町には三陸沿岸道路に IC が 3 つあります。是非今後の土地活用ということで企業誘致などに大きく発展出来るのではないかと期待しています。</p> <p>2 つ目の利活用ということですが、先程お話したように三陸沿岸道路には 3 つの IC がありますが、そのなかに春日 PA という場所があります。三陸沿岸道路の中には SA が無いということですが、利府町にある春日 PA にはコンビニエンスストアや飲食店もあります。日中かなりのビジネスマンの利用も多いという状況です。それから先ほど長距離トラックの事業者が進出しているというお話が東松島市の副市長さんから出ましたが、夜になりますとこの PA は長距離トラックの皆さんがかなり宿泊されています。そのような状況になっていますので出来ればここにコインシャワーや足湯などがあつたらますます充実するのではないかと考えています。</p> <p>それから春日 PA を実際つくるときに文化財が発掘されており、この埋蔵文化財をここに常設で飾っております。それから近隣の市町村に協力を頂きましてこれまでに何回か歴史の体験祭りというものを PA でさせて頂いています。今後ますます連携出来ればなと思います。</p> <p>それから利府町では季節の風物詩ということで 9 月になりますと利府梨をここで販売させて頂いています。梨は時期的なものでございますので、もし沿岸の自治体の皆様に参加して頂いてここで色々な海産物など販売が出来ればありがたいと思っています。是非沿岸の自治体が色々な交流をさせて頂いて、色々な楽しみをつくれる場所になっていけたらなと思っています。</p> <p>今回も色々な事例が出されましたので是非私達もじっくり勉強をさせて頂いて施策につなげていけたらと思っています。三陸沿岸道路の開通により交流人口の拡大、人口増の役割を果たして頂けるのではないかと考えています。大変期待しているところです。今後ともよろしく願いいたします。</p> |
|  | <p>南三陸町<br/>最知副町長</p> | <p>南三陸町の最知です。この度は三陸沿岸道路利活用戦略会議の立ち上げ誠にありがとうございます。参加させて頂いて非常に嬉しく思っています。</p> <p>最初に現況からお話させて頂きます。全線開通して県内では気仙沼まで通ったので本町は素通りをされるのではないかと心配していました。しかしおかげさまで『さんさん商店街』においてコロナの影響もあるかと思いますが、若干の減少は見られますがそんなに大きな影響はありませんでした。むしろ連休中は南三陸町のウニ丼を食べたいということで、行列が出来た状況でした。それほど減らなくて一安心しました。ただもう一方で歌津地区に『ハマレ歌津』というもう 1 つの小さい商店街があります。そこはやはり国道 45 号線の利用者が減少したということがあり、そちらの商店街は減少傾向にあります。非常に苦戦をしています。道路を挟んだ南側には町の方で公園や駐車場を今から整備する予定です。何とかその時にもご指導をお願いしたいと思っています。</p> <p>南三陸町としては、町内での教育旅行を誘致したいと思っています。今までも行ってきましたが、コロナの影響で急激に減っています。他の所と連携をとりながら震災学習による各伝承施設を回って歩く形をとって頂くとか、隣の登米市さんと連携が出来ることを期待しています。この辺の体験プログラムの充実を図りたいと思っています。</p>  |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  | <p>1点要望です。先程も南三陸町『ハマレ歌津』が苦戦しているというお話をさせて頂きました。以前まで高速バスの停留所がありました。今回全線開通になったことでバス会社さんがその停留所をスルーしている状況です。地域の皆様にとっては仙台へ行く直通の足が無くなり、町に要望が寄せられるようになりました。秋田道には停留所があったと記憶していますが、そういった検討もこの会議で出来ないか要望としてお願いしたいと思います。以上です。</p>  |
|  | <p>栗原市建設課<br/>佐藤課長補佐</p>                   | <p>栗原市建設課課長補佐の佐藤と言います。</p> <p>栗原市につきましては、三陸沿岸道路の関連性は無いですが、復興支援道路である宮城県北高速幹線道路の関連自治体として活用戦略会議に参加させて頂くことになりました。道路の開通による変化については、三陸沿岸道路や宮城県北高速幹線道路の整備により宮城県沿岸部と内陸部が結ばれたことから移動時間が大幅に短縮され周遊観光や物流などの企業活動は勿論、一刻を争う緊急搬送にも大きな効果が出ていると思っています。高速交通網を活かした輸送効率の向上により本市においてもIC周辺での工業団地の問い合わせが増えていまして、今後の立地につながることを期待しています。観光につきましてはコロナ禍ではありますがNHK連続テレビ小説『おかえりモネ』の追い風もありロケ地巡りを兼ねた大自然を満喫する観光客の増加が感じられています。三陸沿岸道路を活用した地域活性化策について直接関連はしてはいませんが、当会議に期待することがあります。宮城県さんが事業者主体となる宮城県北道路幹線道路第5期の地区について、登米市北方バイパスになりますが、早期事業化に向けた取り組みが重要と考えています。</p> <p>また令和元年8月に東北縦貫自動車道から宮城県北高速幹線道路に直接乗り入れが出来る(仮称)栗原ICの整備に着手されたことから早期の完成が望まれているところです。本市においてはこれら道路網の整備を行うことにより沿岸部と内陸部が結ばれ、産業や観光交流、医療機関の連携、災害時の緊急輸送などより一層の広域道路ネットワークの強化、交通体系網の確立につながるものと捉えています。</p> <p>今回設立されました三陸沿岸道路活用戦略会議によりその取り組みが宮城県、関連する自治体の発展に寄与すればと願っています。</p> <p>以上です。</p> |
|  | <p>オブザーバー<br/>国土交通省東北地方整備局<br/>高松道路調査官</p> | <p>今日は色々な話を聞かせて頂いてありがとうございました。各自治体の皆様が三陸沿岸道路を活用した観光や産業をこれからの活性化に向けた期待というものを改めて感じました。</p> <p>そういったなかで、宮城県さんから話がありました戦略会議の取り組みは岩手県沿岸でも今後立ち上げていくことになっています。場合によっては県を跨いで行う連携というものを実現していければもっともっと三陸沿岸の復興に繋がるのかなと思います。</p> <p>また先ほど事務局から活性化に関する施策メニューがありました。例えばそういったものを1度実験してみたいという時には社会実験というようなことも国交省として取り組んでいます。そういったものも是非活用して頂ければと思います。</p> <p>またP.22『道・絆プロジェクト』についてということで、ラーメンマップや観光案内板の設置など紹介させて頂きました。その他にも例えばインバウンド向けに寺社仏閣マップを作った市町村もあります。地域の物産のPR活動などをやる際の支援として使っているところもあります。今</p>   |

|  |   |   |
|--|---|---|
|  |   | <p>年度は締め切ったそうですが来年度も続くと思いますのでそういったものを活用してもらえればと思います。ありがとうございます。</p> |
| <p>オブザーバー<br/>NEXCO 東日本東北支社<br/>中村総合企画部長</p> | <p>改めまして NEXCO 東日本の中村と申します。</p> <p>簡単に三陸沿岸道路の開通による変化など感じているなかで、直接実感している訳ではありませんが沿岸道路が開通してしまうと基本的に無料区間ですので、今までだと仙台から気仙沼に行こうとすると一関までは高速道路をご利用頂いてそこから行って頂いていたのが、これが出来ると、うちの道路に乗る区間が短くなってしまいますので、もしかすると我々にとってはあまり良くないことなのではないか最近感じ始めています。</p> <p>一方で、ダイレクトかどうか分かりませんが、弊社で管理している利府町にあります仙台北部道路というのが東北道と三陸沿岸道路を結んでいます。こちらは暫定 2 車線区間ですが 4 車線化の事業化が一部ではありますがスタートしています。こちらの方を整備させて頂きたいと思います。先ほど栗原市さんの方からもありました（仮称）栗原 IC についても整備を進めていきます。三陸沿岸道路は開通ということですが、その周辺整備がまだあるかと思っておりますのでそういうところで弊社としては頑張っていきたいと思っております。</p> <p>それから先ほどから出ていますが、私からも紹介しましたが海外のお客様向けのレンタカーの話は急激に大きくなってきました。昔は外国の方が日本で車を運転するなんてありえないという感じがありました。弊社では最初北海道でインバウンド向けのサービスを始めました。来る方はだいたいレンタカーを借りるのでレンタカーでも使えるフリーパスみたいなものを出しました。最初は鳴かず飛ばずでしたが、あっという間にご利用者が多くなりました。その東北版ということで『Tohoku Expressway Pass』というものを発売しました。これもコロナ前までは右肩上がりでご利用いただいております。東北のレンタカーを外国の方が借りるとなると仙台空港で借りると思うので、仙台空港さんやレンタカーの業者さんなどが沿岸の市町村の皆さんと何かインバウンドの方により使って頂けるような、そして沿線にお金を落とすとして頂けるような、そういう策を一緒に考えて行けたらなと改めて思いました。以上です。</p> |   |
| <p>オブザーバー<br/>復興庁宮城復興局<br/>山田次長</p>          | <p>宮城復興局は仙台市内から石巻に移転しました。沿岸部の気仙沼から山元町まで対象にさせて頂いておりますが、非常に便利が良くなり三陸沿岸道路の恩恵を 1 番受けているのではないかと思います。</p> <p>市町さんから先ほどご意見がありましたが、付け加えさせて頂くと県の南部の市町村も道路に対する期待が非常に高くなっております。といたしますのは、用地の整備が進み、震災遺構、観光施設についても徐々に立ち上がってきています。これから高速道路、道路周辺の接続部分がつながっていくということに期待感をもっています。私共からは以上になります。</p>   |   |
| <p>オブザーバー<br/>南三陸沿岸国道事務所<br/>五十嵐事務所長</p>     | <p>南三陸沿岸国道事務所所長の五十嵐です。</p> <p>既にご存知の方もいらっしゃると思いますが、当事務所を簡単に説明させて頂きます。私どもの事務所は岩手県の釜石市にあります。昨年度までは三陸沿岸道路の建設をしていました。今年度からは宮城県の鳴瀬奥松島から岩手県大槌町までの三陸沿岸道路と、岩手県釜石市の釜石 JCT から花巻市、いわゆる釜石道、後は現道 45 号もありますが、こちらを管理する事務所として 4 月から新たな組織として立ち上げた事務所です。</p> <p>今日オブザーバーとして参加させて頂いておりますが、いまお話ししたように宮城県内の三陸沿岸道路は当事務所で管理しています。利活用する</p>   |   |

|        |                           |  |
|--------|---------------------------|--|
|        |                           | <p>ためには安定的に交通が通れるようにということで今後適切に管理したいと考えています。</p> <p>先ほど、高松道路調査官から話がありましたが、岩手県内でも利活用について考えていくという方向です。私も各市町村さんと話をさせて頂きましたが、皆様と同様に道路をどう活用して産業や地域振興等に活かしていくかという課題を皆さんお持ちです。これからオブザーバーとして参加させて頂くわけですが、岩手県内の整備効果や観光情報を共有、提供をさせて頂いて、県境を越えて連携するという視点で今後参画させて頂いて利活用策を考えていきたいと思っています。</p> <p>よろしく願いいたします。以上です。</p> |
|        | 事務局<br>仙台河川国道事務所<br>松原副所長 | ありがとうございます。本日の議題は以上となります。  |
| 5. その他 | 事務局<br>仙台河川国道事務所<br>松原副所長 | 最後に全体を通してご質問やご意見のある方はいらっしゃいませんか。<br>無いようですのでこれで終了します。ありがとうございました。  |
| 6. 閉会  | 事務局<br>仙台河川国道事務所<br>松原副所長 | 本日はこれにて閉会となります。<br>本日はお忙しい中ご出席賜りありがとうございました。   |